

第7回丘珠空港機能強化検討会 議事概要

日 時：令和6年3月11日（月）16：00～17：00

場 所：TKPガーデンシティ札幌駅前 ホール2C

出席者：委員19名、札幌市（事務局）4名

1 開会

(1) 挨拶（札幌市 天野副市長）

- ・札幌市では、丘珠空港の機能強化について、地域住民を対象としたアンケートやワークショップ、オープンハウス型意見交換会など、地域の意向確認やご理解をいただくための取組を進めてきているほか、各機関とも個別に調整させていただきながら、検討を進めているところ。
- ・一方で、昨今、冬の降雪による欠航が多く発生しており、そうした中で、今年1月末にトキエアが新潟線を新規就航するなど、状況の変化により、新たな課題も見えてきているところ。
- ・滑走路延伸の2030年供用開始に向けては、最新の情報を皆様と共有し、それぞれの機関が時間軸や優先度を意識し、検討や取組を進めていただく必要があると考える。
- ・時間軸・優先度での課題・情報の整理について、取組主体を明確にし、これまでの検討・取組状況も踏まえてブラッシュアップを行った上で、関係の皆様と共通の認識を持って、2030年に向けて取組を進めてまいりたい。

2 議事

(1) 時間軸・優先度での課題・情報の整理について

- ・前回の第6回検討会では、滑走路延伸の2030年供用開始に向けて、時間軸・優先度を踏まえ、課題や対応の方向性を整理したところ。
- ・その後、関係の皆様にご協力をいただきながら個別具体の検討をしていただいているところであるが、内容のブラッシュアップや取組主体の明確化などを進めた上で、更なる検討・取組を進めていただく必要がある。
- ・今回は、時間軸・優先度での課題・情報の整理について意見交換を行い、今後の取組や検討を進めていくことについて共通認識を形成したい。
- ・今後の増便への対応として、訓練場所の確保については、民航機と自衛隊機の安全運航の両立に向けて、丘珠空港緑地の活用も視野に入れて検討していきたい。
- ・騒音調査については、地域住民との意見交換会や丘珠空港周辺地域連絡協議会での意見等を踏まえ、調査回数や調査地点の拡充、情報提供の強化等をしていきたい。
- ・ビジネスジェットの利用拡大について、ビジネスジェットの利用促進に関する協定を昨年11月に札幌市とJapanticketが結んでおり、ニーズの把握や課題の洗い出しを行っていく。
- ・二次交通に対する検討として、地域連絡協議会での意見・要望や二次交通の詳細な利用状況等を踏まえ、運航事業者と協議しながら、シャトルバスの実証実験等をしていきたい。
- ・二次交通のシャトルバスについて、自家用車利用を都市型空港でどこまで許容するか、やはり公共交通機関が一定の利便性を確保できる形にしていくのが一義的なやり方だと思う。
- ・駐車料金見直しを含む駐車場運用のあり方の検討もあるが、シャトルバスの実証実験も含め、遅れないようにタイミングを良く見ながら進めてほしい。
- ・取組実施機関の主導機関の整理について問題ないか。⇒全員異議なし。

(2) 検討・取組等の情報共有

- ・札幌市では、今年1月に第2回丘珠空港周辺地域連絡協議会を開催し、アンケートやワークショップ、オープンハウス型意見交換会における市民意見の傾向について説明したほか、騒音調査の結果や（仮称）丘珠空港周辺地域まちづくり構想の骨子案を説明した。
- ・地域からの意見としても最も多かったのは交通アクセスの改善であり、大都市圏への就航の要望、環境への配慮、安全運航の徹底、周辺施設との連携、空港関連施設の再配置などの意見があったところ。
- ・空港へのアクセスに関しては、シャトルバスの運行なども含め検討していく考え。
- ・航空機騒音の速報値については、名古屋（小牧）や根室中標津、秋田が新規就航し、上り幅は1dB程度で、全ての地点で環境基準の範囲内に収まっている。引き続き、地域には丁寧に説明していきたい。
- ・安全運航に関して、「離発着の機会が増えると事故の増加も心配」という意見もあった。
- ・この他、「関係機関や施設の再配置による賑わい創出」や「新産業の誘致を含めた空港周辺の土地活用を進めてほしい」、「駐屯地を移転し、跡地にターミナルビルを建て、栄町駅とターミナルビルを地下道で結ぶ」という意見も寄せられている。
- ・札幌市としては、こうした意見を踏まえ、滑走路延伸等を見据えた上で、どのようにして空港周辺に賑わいを創出することができるのか、まちづくり構想として検討していく考え。
- ・まちづくり構想については、令和6年度に一定の成果が出せるよう取り組んでいきたい。
- ・賑わい創出や地域活性化について必要なことは理解できるが、見えている状況をしっかり押さえて対応するよう、留意して取り組んでほしい。
- ・除雪機材の更新と滑走路延伸による除雪面積の増加を見据えて、色々検討していきたい。
- ・今冬は欠航が多く改善すべき点が見えてきたところであるが、夏ダイヤに向けて、丘珠空港の利便性をしっかりとPRし、知名度を全国に広められるよう取り組んでいきたい。
- ・札幌市内にある空港でアクセスが便利ということの周知がまだまだ足りないと考えており、空港や航空会社それぞれがアクションすることが効果的だと思うので、是非お願いしたい。

(3) その他

- ・当検討会について、来年度も継続して開催させていただきたい。また、今年の1月末に丘珠－新潟線を新規就航したトキエアを、当検討会の構成員に加えたいと考える。
⇒全員異議なし。
- ・今回は具体的に進めていく各取組について責任分担の明確化を行ったが、関係者が一丸となって取り組むべき課題も多いと思う。
- ・丘珠空港の問題は、主体が入り組んでいる部分が多いということで、そのことが現状を変えることの大きな壁となっていたという認識がクリアになってきて、そこを乗り越えて一つずつ進めていけば、かなり物事が動くのではないかというのが見えてきている状況かと思う。
- ・皆様のお力を借りて、2030年に滑走路を延伸して、新千歳空港とも連携した都市型空港として、丘珠空港が発展していくという姿が描ければ大変ありがたいと思う。

以上